

## 第5学年 算数科学習指導案

1 単元(教材)名 「比べ方を考えよう(1)」

2 研究との関わり

- ・自分たちが暮らしている県の人口密度を調べ、他の都道府県と比べる。(生活の場面)
- ・社会科の地図帳の学習を活用して、各都道府県の人口と面積を調べ、人口密度を求める。(教科等横断的)

3 本時の学習指導

(1) 目標 人口密度の意味を理解し、人口密度を求めることができる。

【知識及び技能】

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ※評価	
		☆教科等横断 (T1)	★生活の場面 (T2)
<p>1 本時の問題場面を知る。</p> <p>(1) こみぐあいとは何か全体で確認する。</p> <p>(2) どちらがこんでいるか、予想する。</p>	<p>北海道と沖縄県の、人のこみぐあいを比べましょう。</p>	<p>○こみぐあいの説明を教室で実演する。(T1、T2)</p> <p>○こみぐあいは面積と人口が分かればよいことをおさえる。</p> <p>○掛図を使用し、北海道と沖縄の面積を意識させて予想をさせる。</p>	
<p>2 本時の課題を知る。</p>	<p><b>課題</b>人のこみぐあいを比べる方法を考えよう。</p>		
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 前時までの学習から、こみぐあいの比べ方を確認する。</p> <p>(2) 「人口密度」の意味を知る。</p> <p>(3) 北海道と沖縄県の人口密度を電卓を使用して求め、比べる。</p> <p>(4) 答えは上から2桁のがい数にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口密度</li> <li>・四捨五入のやり方</li> </ul>	<p>○こみぐあいの求め方にはどのようなものがあったか発言させる。</p> <p>○人口密度は1kmあたりの人口で表すことを確認する。</p>	<p>○北海道、沖縄県の面積と人口を基に、人口密度を求めさせる。</p> <p>○T2と情報交換をしながら遅れている児童を把握し、机間巡視を行う。</p> <p>○数に対する理解が低い児童には、人口の部分に0を書くよう指示をする。</p> <p>○担任と分担し、机間巡視を行い支援する。</p> <p>○遅れている児童の状況を担任に伝える。</p>
<p>4 本時のまとめをする。</p>		<p>※人口密度の意味を理解し、人口密度を求めることができる。(知識・技能)【発言・ノート】</p>	
<p>5 適用問題に取り組む。</p>	<p>自分が住んでいる地域と他の都道府県の人口密度を比べてみよう。</p> <p>社会科で使っている地図帳を使えば都道府県の人口も面積も分かるね。</p> <p>熊谷市の人口密度はどうなっているのだろう。</p>	<p>★私たちが暮らしている県の人口密度は他の都道府県と比べてどのようになっているのか確認する。</p> <p>☆地図帳には各県の人口も面積も載っていることを確認する。</p> <p>○各都道府県の人口密度を付箋に書いて計算し、ホワイトボードを活用し、埼玉県と比較する。</p> <p>★熊谷市の人口密度は都道府県と比べてどうなっているか確認する。</p> <p>○単位面積あたりの求め方に慣れさせるため、たくさんの都道府県の人口密度を求めさせる。</p>	
<p>6 振り返りをする。</p>			

#### 4 板書計画

**問題** 北海道と沖縄の人のこみぐあいを比べてみよう。

☆単位面積当たりの人口を人口密度という。



国や都道府県のこみぐあいは人口密度で表す。

埼玉県と他の都道府県の人口密度を比べてみよう。

答えは四捨五入して、上から2桁のがい数にする。

○比べ方を考えよう！

- 面積と人口が分かれば比べることができる

	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (万人)
北海道	83424	534
沖縄県	2281	147

北海道  $5340000 \div 83424 = 64.0$

沖縄県  $1470000 \div 2281 = 644.4 \dots$

沖縄のほうがこんでいる。

**課題** 人のこみぐあいを比べる方法を考えよう

**まとめ** 1kmあたりの人口という単位量あたりの大

きさを使うと、人のこみぐあいを比べることができる。